

南大門地鎮祭にご参加下さい

今から約800年前の鎌倉時代、肥後の国玉名郡築地村（現在の熊本県玉名市築地）に、高原山浄光寺蓮華院という大きなお寺が建てられました。そこには、江戸時代に書かれた『肥後国誌』という本に「南大門の扉を朝夕開閉する音、吉次山（金峰山）に響きし」と伝えられるほどの壮大な門が建っていました。

しかし戦国時代の戦火により、お寺も門も消失しました。

このたび平成23年春の落慶を目途に再建される南大門は、高さ13m、横幅20m、奥行き10mに達する総木造の入母屋造の二重門（二重に屋根をかけた門）で、一層部分の四隅に四天王像がお祀りされます。

この南大門の再建に当たり、5月3日に地鎮祭を執り行います。

子供たちには地域の文化を楽しく学ぶ機会に、大人達にとっては昔を懐かしむ良い機会になればと存じます。

皆様、こぞってご参加ください。

雨天の時は5月6日に変更いたします。

5月3日（憲法記念日）

- 11時 開運鈴受付開始（100名様）
- 11時30分 神式地鎮式
- 11時50分 仏式地鎮式
- 12時10分 地固め（玉名市相撲連盟 土俵入り）
- 12時20分 主催者挨拶
- 12時40分 地搗き再現
食バザー
宮城野部屋ちゃんこ
薬草料理、もちつき他
- 14時50分 祝いもちまき
- 15時 終了

力士地固め

地鎮祭では、古来より力士が土俵入りをして、大地を鎮める四股を踏んでいました。

今回玉名市相撲連盟の10名の力士が、きらびやかな化粧まわしを付け、四股を踏み、地固めをします。

地搗きと地搗き唄

むかし建物を建てる時には、大きな石や柱に曳き綱をつけ、引き上げては落として土台になる地面を搗き固めていました。その時に、調子を合わせるために唄われていたのが地搗き唄です。今回は築山で昔から唄われていた地搗き唄「エイト節」を再現します。

開運鈴

地鎮祭の記念として、開運祈願の鈴をお分かちいたします。11時より受付にて、先着100名様に引換券をお配りします。お守りとしてお持ちください。

祝いもちまき

地鎮祭の成功をお祈りして、2,000個の紅白もちを、地搗き櫓の上からまきます。

お問い合わせ先 南大門再建奉賛会 会長 荒木 巖
玉名市築地2288 蓮華院誕生寺内
0968-74-0971

皆様の千年に亘る願いを込める「南大門地鎮祭参加者願文」

地鎮祭に参加された全ての方々のお名前と願い事（願文）を、南大門でお祀りされる四天王の胎内に奉納いたします。

下記「南大門地鎮祭参加者願文」にご記入の上、当日受付までお持ちください。

南大門地鎮祭参加者願文

氏名			
住所			
生年月日	明治・大正・昭和・平成	年	月 日生
願文			